

生徒会 頑張っています!!

10月下旬の生徒会交代式から、1ヵ月半が経ちます。この間、生徒会執行部は全校集会の企画・運営、各専門委員会の活動など、さまざまな面で見崎中学校のリーダーとして活躍しています。旧生徒会執行部の先輩たちも安心してバトンタッチできたことでしょう。来年の10月まで、見崎中生徒会をリードしていただきます。



生徒会長 S.K さん
副会長 T.K さん
副会長 S.M さん
書記 G.K さん

学習委員長 A.H さん
生活委員長 K.T さん
美化委員長 Y.N さん
健康委員長 C.M さん

各教科の取組の様子

見崎中学校では、各教科、さまざまなゲストティーチャーに来ていただいたり、研究授業などを行ったりしています。

例えば、11月4日(木)には、2年生家庭科の授業において、JA全農ふくれん園芸部から3名の方に来ていただいて、食育出前講座をしていただきました。

また、11月17日(水)には、3年生社会科の授業において、公正取引委員会から2名の方に来ていただいて独占禁止法等の授業をしていただいています。

さらに、11月26日(金)には、3年生英語科の授業を市内中学校等の英語科の先生方が授業見学に来られました。この授業は、福岡県中学校英語科教育研究会福岡県大会における提案授業として、本校の伊藤先生が行ったものです。

この取組は、新型コロナウイルス感染症の影響で途絶えている八女市と韓国巨済市の中学生同士の交流を、インターネットを介して、英語という言語で交流を行おうという、英語教育やICT(情報通信技術)教育の最先端をいく取組です。12月中に、子どもたちは実際に交流をする予定となっています。当日が楽しみです。

【食育出前講座】



【公正取引委員会による授業】



【英語科提案授業】



帰居祭 素晴らしい発表でした！



11月3日(水)文化の日に、八女公園の坂本繁二郎画伯の寿像前で、第46回帰居祭(きぎょさい)が開催されました。「帰居」とは坂本繁二郎画伯の雅号であり、「自然に帰る」という意味があるそうです。この帰居祭は、故郷八女を愛した坂本画伯をたたえる集いで、八女市長をはじめ八女文化連盟の方々など100名近くの方が参加されました。

その中で、中学生の代表として本校のS.Kさんが、「伝えたい、坂本繁二郎の素晴らしさ」という題で発表を行いました。下に発表の最後の文章を掲載します。

「私は、この八女が大好きです。この八女を繁二郎がこよなく愛し、数々の素晴らしい作品を残したことを誇りに思うとともに、これからも繁二郎の素晴らしさをみんなに伝えていこうと思います。」

後日、参加してあった八女市教育委員会の方から、「高校生にも負けていない立派な発表で、とても感動しました。発表されたKさんにご指導いただいた先生方に感謝いたします。」との言葉をいただきました。

【発表の様子】



感動！「中学生の未来に贈るコンサート」!!

12月2日(木)、「中学生の未来に贈るコンサート」がおりなす八女で開催されました。この催しは、福岡県が青少年の健全育成や芸術・文化の振興を目的として県内の中学生を対象として実施されている事業で、3年に1回、県内の各中学校に、九州交響楽団の生のオーケストラ演奏を鑑賞する機会がまわってきます。

当日は晴天の中、全校生徒で貸し切りバス3台に乗って行きました。演奏曲目はスターウォーズのテーマ曲、ピバルディの「四季」、ベートーベンの「運命」など合わせて1時間程度でしたが、子どもたちは本物のオーケストラの音色を堪能していました。

また、演奏が始まる待ち時間にも、チューバやティンパニー、バイオリンの演奏者から、特別に演奏を聴かせてもらいました。特にバイオリン奏者の方がリクエストに応え、弾いてくれた「情熱大陸」のテーマ曲には、演奏が終わった後の拍手もひととき大きく、演奏される方を気持ちよく盛り上げることのできる、とてもすてきな子どもたちだなと感じました。

